New Fine 快適生活通信

JA愛知東

2017
AUTUMN

Vol.57

特集 Feature article

美味しいがいっぱい♪ JA愛知東特産品マップ

ＪＡ愛知東 特産品マップ

ＪＡ愛知東管内（新城市・設楽町・東栄町・豊根村）は、赤石、木曽山系の
1,000メートル級の山々が連なる中山間地域で、河川は天竜川、豊川、矢作川水系の水源地となっています。
豊かな自然や夏でも冷涼な気候を活かし、管内では高原野菜をはじめ、さまざまな農畜産物が生産されています。
それぞれの旬には、食材がもつ旨みもアップ♪
今回紹介した以外にも管内には魅力あふれる特産品が数多くありますので
みなさんも直売所などで愛知東産をぜひ探してみてくださいね。

トマト

主な産地　新城市・設楽町
シーズン　6月下旬～12月上旬
生 産 量　1,300t

ミニトマト同様、県内唯一の夏秋産地。ケチャップやジュースなど加工品の原料にも使用。名倉地区では、希少な「ルネッサンストマト」も栽培。

ミニトマト

主な産地　設楽町・東栄町・豊根村
シーズン　6月中旬～12月上旬
生 産 量　200t

県内唯一の夏秋産地。標高500メートルを超える夏でも冷涼な地域で栽培されるため、昼夜の寒暖差により糖度が高まり、甘みと酸味のバランスに優れる。

米

主な産地　管内全域
シーズン　9月上旬～10月下旬
生 産 量　6,000t

作付けが愛知県の米生産の６％しかないため"幻の米"といわれる「ミネアサヒ」をはじめ、酒米「夢山水」、「夢吟香」などを栽培。

ブルーベリー

主な産地　豊根村
シーズン　6月下旬～8月下旬
生 産 量　2.5t

寒冷地向き品種のハイブッシュ系を中心に栽培し、観光農園も開園する県内有数の産地。ＪＡでは豊根村産の果実を100%使用したジャムを製造・販売。

▲ブルーベリージャム

ナス

あいちの伝統野菜

主な産地　管内全域
シーズン　6月下旬～11月上旬
生 産 量　180t

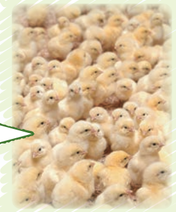
全国的に流通の多い「千両二号」「筑陽」を栽培。津具地区は、１本400～700gと大型で、とろけるようなやわらかい食感の「奥三河天狗なす（写真）」発祥の地。

菌床しいたけ

主な産地　新城市
シーズン　周年
生 産 量　150t

培地となる菌床（ブロック）も地元で製造し、春夏の菌と秋冬の菌を用いて、肉厚でボリュームのあるしいたけを周年栽培している。

東栄チキン



主な産地　東栄町
シーズン　周年
生 産 量　2,320t

肉用若鶏加工品ブランドの総称。「錦爽どり」「三河赤鶏」を飼育し、指定飼料に木酢酸を転化することで、臭みが少なく、柔らかな肉質を実現。

自然薯

主な産地　新城市
シーズン　11月中旬～12月下旬
生 産 量　5t

愛知のブランド品種として県が開発した「夢とろろ」を栽培。香りが高く、色白で粘りが強いのが特徴。年末の贈答品としても注目が高い。

イチゴ

主な産地　新城市
シーズン　11月下旬～6月中旬
生 産 量　250t

香りが高く、ほどよい酸味の「紅ほっぺ」、県の育成品種で爽やかな酸味の「ゆめのか」を栽培。冷涼な作手高原では夏秋出荷も行う。

梅

主な産地　新城市
シーズン　5月下旬～6月下旬
生 産 量　15t

県下一の生産量を誇り、小梅（竜狭、宮口）と大梅（玉英、南高など）を栽培。ジャム、アイス、漬け物などオリジナル加工品も販売。

ホウレンソウ

主な産地　新城市
シーズン　周年
生 産 量　40t

県内唯一の周年栽培産地。作手高原の冷涼な気候で育ち、葉肉は厚く、歯ごたえがあり、しゃぶしゃぶのようにさっと湯通しして味わうのがオススメ。

鉢花

主な産地　新城市
シーズン　3月中旬～10月下旬
生 産 量　20万鉢

山間地の冷涼な気候により花色が鮮やかなのが特徴で、春から初夏にかけてはクレマチスやブライダルベール、夏から秋にかけてはポットマムを栽培。

つまもの

主な産地　新城市
シーズン　周年
生 産 量　5万点

料理を引き立てるために用いられる枝葉の総称で、桜花、イチョウ、松葉など四季折々の品目を栽培。松竹梅を使用した正月用飾りも手作りされている。

巨峰

主な産地　新城市
シーズン　7月下旬～8月下旬
生 産 量　42t

東三河地域が発祥の「種なし巨峰」を中心に栽培。甘味と酸味のバランスに優れた房が多く、贈答用としても人気。

柿

主な産地　新城市
シーズン　10月中旬～12月上旬
生 産 量　500t

コク深い甘味とコリコリとした歯ごたえがある食感の「次郎」を主力品種に、果肉が柔らかくジューシーな「富有」や「早秋」を栽培。

鳳来牛

主な産地　新城市
シーズン　周年
生 産 量　300頭

市内の生産農家が18ヵ月以上の長期肥育をした肉質等級"４等級以上"の厳選された和牛肉。脂の甘みが強く、肉の旨みに優れる。

▲鳳来牛カレー

八名丸里芋

あいちの伝統野菜

主な産地　新城市
シーズン　10月中旬～12月中旬
生 産 量　40t

1940年代から栽培される旧八名村（現新城市）発祥の品種。形が丸く、柔らかい肉質で強い粘りが特徴。八名丸里芋を原料としたコロッケも人気。

▲八名丸里芋コロッケ

▲しんしろ茶

しんしろ茶

主な産地　新城市
シーズン　4月下旬～7月下旬
生 産 量　40t

普通煎茶の生産量は県下一。厳選した風味豊かな一番茶は「しんしろ茶」として流通。しんしろ茶を原料とした紅茶も人気を集める。

小菊

主な産地　管内全域
シーズン　7月中旬～9月下旬
生 産 量　50万本

盆向けの仏花を中心に赤、白、黄色の小菊を栽培。ＪＡグループとして産地化を目指し、事前に取引条件を決める契約栽培に取り組む。

※特産品やＪＡオリジナル加工品は、管内のＪＡ直売所やＡコープでお買い求めいただけます。